



かがやき

西橋北小学校
学校だより

No.37

平成 24 年 2 月 17 日

授業参観・懇談会が終了

(文責：後藤 達人)

2月3日(金)の5,6年生を皮切りに、7日(火)には3,4年生が、13日(月)には1,2年生の授業参観と懇談会が行われました。そこで、各学年の授業の様子を簡単に紹介します。



6年生は、キャリア教育につながる、自分を見つめる授業を展開していました。今の自分の姿や将来の夢や希望等を語り、自分自身の将来設計を展望するものです。もちろん、そこに必要不可欠な「自尊感情」をはぐくむことをねらった授業です。話す側、聞く側双方とも一生懸命を出していましたが、発表後の意見交換等を活発に行うことが

できれば、校内研修のめざす姿(学び合い、コミュニケーション力)により近づくことができたように思います。6年生は、あとわずかで卒業です。しっかりと力を付けて巣立ってほしいものです。

5年生は、長縄跳びに挑戦です。個人の力も必要ですが、みんなでリズムよく、同じ調子で跳ぶことが要求されます。練習中に、気がつくことがあれば、みんな集まって話し合います。どうすれば、もっと続けて跳ぶことができるのか、知恵を出し合います。



集団での学び合いの1こまを見ることができました。最上級生に向かい、西橋北小学校のめざす子どもの姿になりつつあるように思います。

4年生は、電子黒板を使って、全国都道府県の場合と名前を確認する学習でした。ICT技術の進歩で、学校教育現場も大きく様変わりをしています。教師もこれらの機器や技術に対応するべく、研修に励んでいます。



このような授業改善に向けた取組により、子どもたちの学習に向かう意欲の向上が期待されるわけです。真剣な表情の子どもって、実に気持ちがいいものですね。



3年生は、道徳の授業です。よりよい人間関係を築くために、道徳の時間をはじめ、全ての教育活動を通して、人権学習を推進しています。学校では、単なる知識の習得に終わらないよう、教材を工夫し



たり、自分の生活と関連付けて考えさせたり、ロールプレイング等で体験的に学習したりして、生きて働く力、つまり、生活の中で役に立つ人権意識の醸成をめざしています。



西橋北小学校では、以前にも記しましたが、人間関係の改善が大きな課題です。難問ですが、一步ずつでも階段を上っていくことに努力を続けていきたいと思います。

2年生は、生活科の学習で、自分の成長のアルバムを発表していました。お家の人たちの協力の下、自分の生まれたときから今日までをアルバム風にまとめ、みんなに聞いてもらいました。



その中で、自分に付けられた名前の由来や親の願い・期待等にも話が及びました。自分の名前の尊さや大事さが、しっかりと分かってくれたようで、うれしくなると同時に、この取組が、子どもの「自尊感情」を高めるために、とても有効であることを改めて感じた授業でした。友だちの話聞くことを忘れる場面もありましたが、上手な発表でした。



1年生は、国語と生活科の合体した学習で、お店屋さんをしました。国語の時間に、店の人や客が、どのような言葉で、どんなコミュニケーションを図っているのか学習した後、自分たちでも、お店屋さんをしようということになりました。



店の紹介や本日のおすすめ商品などの紹介の後、6店舗が一斉に開店しました。案内チラシや店の看板、商品もお金も自分たちで作りました。呼び込みの声も大きく、堂々としたものでした。失敗しても関係なし。とても立派な1年生の姿を見ることができました。



お家の方々にも買い物をしていただいたおかげで、どの店も商売繁盛で活動を締めくることができました。自分の思いが、十分に発揮できた授業だったと思います。

授業参観にお越しいただいたことが、子どもたちが張り切って活動する原動力となります。子どもたちは、常に自分のことを見ていてほしい、自分を認めてほしいと願っています。時には、思いと反対のことを言ったりもしますが、成長の段階の一つのステップだと思ってください。今の子どもたちに必要なことは、今日2回書きました「自尊感情」の育成です。